

企画委員長 加納孝代

10月27日の大学女性協会主催のシンポジウム「教育・ジェンダー・共生 — 誰ひとり取り残さない共生社会を創るために —」は、盛会のうちに無事に終えることができました。当日は天候にも恵まれ、朝までの雨模様が次第に晴れ、青空が広がってゆきました。

大学女性協会の会員では、首都圏内の各地域や各全国地の支部からの参加がありました。一般からも予想以上のご参加があり、合計で92名となったことは嬉しい限りです。

基調講演者の高橋先生（津田塾大学学長）も、4名のパネリストの山下いづみさん（静岡県富士市議会議員）、川崎直子さん（かにえ子ども日本語の会）、荒川朋子さん（アジア学院）、石川えりさん（難民支援協会）も、真摯に、誠実に、女性の社会進出と、共生というテーマについて語って下さいました。大学女性協会にとっても、また社会全体にとっても大事なメッセージが発信されたことを、主催者側一同心から喜んでおります。

その方々が発表時に用いて会場のスクリーンに投影された資料を、ご本人の了解を得てここに掲載いたします。なお紙媒体による報告書は、年度内に作成する予定です。大学女性協会の会員には2019年3月中にお届けします。会員外の方で報告書を希望なさる場合は、実費（未定）と送料をご負担いただければ、お送りします。ご希望は郵便、またはファックス、メールでご連絡ください。

お問合せは電話でも応じます。

大学女性協会 事務所 TEL：03-3358-2882（月～金の10:00～16:00）